

①施策および事業一覧表

資料6-③

視点1：子ども・若者の健やかな育ちに向けたまちづくり

視点	大項目	小項目	施策	施策担当課	中事業名	事業目的・内容等
1	子ども・若者を 応援する体制の 整備・充実	① 子ども・若者支 援のネットワー クづくり	1 市民活動のネットワー ク化	子ども・若者課	地域子育て支援事業	<ul style="list-style-type: none"> ●地域子育て支援事業 子育て情報をまとめた「彦根市子育てガイドブック」を作成し、子育て家庭や関係者に配布した。 ●子ども・若者支援事業 <ul style="list-style-type: none"> ・子ども・若者の支援機関等の情報を掲載した「彦根市子ども・若者支援ガイドブック」を作成し、関係機関へ配布した。 ・ニート・ひきこもり等社会生活を円滑に営む上での困難を有する子ども・若者を支援するため、子ども・若者育成支援に関する相談に応じ、関係機関の紹介その他の必要な情報の提供および助言を行う「彦根市子ども・若者総合相談センター」を、NPOへ業務委託し、平成28年10月に開設した。(新) ・社会生活を円滑に営む上での困難を有する子ども・若者を支援する関係機関等のネットワークとして子ども・若者支援地域協議会を、平成28年12月に設置し、平成29年2月に第1回会議(代表者会議)を開催した。(新) ・滋賀県立大学と連携し、県立大学「地(知)の拠点整備事業(大学COC事業)」公募型地域課題研究の一環として、若者の居場所「遮信サロン」の試行的な開設に取り組んだ。(新)
1	子ども・若者を 応援する体制の 整備・充実	① 子ども・若者支 援のネットワー クづくり	2 青少年の健全育成に関 わるネットワークの充 実	子ども・若者課	子ども・若者支援事業	
1	子ども・若者を 応援する体制の 整備・充実	① 子ども・若者支 援のネットワー クづくり	3 子ども・若者支援ネッ トワークの整備	子ども・若者課	子ども・若者支援事業	
1	子ども・若者を 応援する体制の 整備・充実	① 子ども・若者支 援のネットワー クづくり	4 (仮称)彦根市子ど も・若者支援センター の設置	子ども・若者課	子ども・若者支援事業	
1	子ども・若者を 応援する体制の 整備・充実	① 子ども・若者支 援のネットワー クづくり	5 プログラムの構築と提 供体制	子ども・若者課	子ども・若者支援事業	

視点1：子ども・若者の健やかな育ちに向けたまちづくり

視点	大項目	小項目	施策	施策担当課	中事業名	事業目的・内容等
1	子ども・若者を 応援する体制の 整備・充実	② 家庭と子ども・ 若者を応援する 地域づくり	6 身近な地域での声かけ の促進	社会福祉課 健康推進課	民生委員設置事業（社福） 乳児家庭全戸訪問事業（健推）	<p>●民生委員設置事業 地域住民の中から選ばれた民生委員・児童委員は、自らも地域住民の一員という性格をもって、担当地域内で住民の見守りや相談活動を行っている。その活動の一環として、子どもの登下校時の見守りや声かけ、子育て家庭への訪問等を行っている。またそれらの活動を通し、家庭と子ども・若者を応援する地域づくりに寄与している。</p> <p>○地域福祉活動・自主活動：12,179件 ○子どもに関する相談：3,380件 ○こんにちは赤ちゃん訪問：下記乳児家庭全戸訪問事業の訪問件数のとおり</p> <p>●乳児家庭全戸訪問事業 生後4カ月までの乳児がいる家庭すべてに訪問し、子育てに関する情報提供、乳児とその保護者の心身の状況・養護環境の把握、養育についての相談に応じ、助言その他の援助を実施することにより子どもの健やかな育成を図るもの。（民生委員児童委員協議会連合会に委託。出会えない場合は助産師・保健師による新生児訪問等でフォローしている。） 訪問対象者件数：1,039件、訪問面接件数：946件、面接率：91.0% 【内訳】○民生委員児童委員、主任児童委員の訪問件数 実1,030件（延べ1,592件） うち面接できた件数 実846件 ○民生委員児童委員等が訪問をして出会えなかった家への助産師等の訪問件数 実93件</p> <p>●家庭児童相談室運営事業、児童虐待防止対策事業、ひとり親家庭自立支援事業 家庭訪問や電話連絡により家庭的孤立防止が図れた。訪問件数も増加しており、より一層の充実を図る。</p> <p>●子ども・若者支援事業 ・子ども・若者の支援機関等の情報を掲載した「彦根市子ども・若者支援ガイドブック」を作成し、関係機関へ配布した。 ・ニート・ひきこもり等社会生活を円滑に営む上での困難を有する子ども・若者を支援するため、子ども・若者育成支援に関する相談に応じ、関係機関の紹介その他の必要な情報の提供および助言を行う「彦根市子ども・若者総合相談センター」を、NPOへ業務委託し、平成28年10月に開設した。（新） ・社会生活を円滑に営む上での困難を有する子ども・若者を支援する関係機関等のネットワークとして、子ども・若者支援地域協議会を、平成28年12月に設置し、平成29年2月に第1回会議（代表者会議）を開催した。（新） ・県主催の研修等に積極的に参加した。</p>
1	子ども・若者を 応援する体制の 整備・充実	② 家庭と子ども・ 若者を応援する 地域づくり	7 民生委員児童委員の活 動への支援	社会福祉課	民生委員設置事業	
1	子ども・若者を 応援する体制の 整備・充実	② 家庭と子ども・ 若者を応援する 地域づくり	8 家庭の孤立化防止への 支援	社会福祉課 子育て支援課 子ども・若者課 健康推進課	民生委員設置事業（社福） 家庭児童相談室運営事業（子 支） 児童虐待防止対策事業（子支） ひとり親家庭自立支援事業（子 支） 子ども・若者支援事業（子若） 乳児家庭全戸訪問事業（健推）	

視点1：子ども・若者の健やかな育ちに向けたまちづくり

視点	大項目	小項目	施策	施策担当課	中事業名	事業目的・内容等
1	子ども・若者を 応援する体制の 整備・充実	③ みんなで子ども・若者を育てるまちづくり	9 ともに関わり、支えるまちづくり	子育て支援課 子ども・若者課 障害福祉課 健康推進課	家庭児童相談室運営事業（子支） 青少年健全育成事業（子若） 地域子育て支援事業（子若） 自殺対策強化事業（障福）	●家庭児童相談室運営事業 子どもに関する各般の問題に対し、家庭その他からの相談に応じ、子どもが有する問題または子どもの真のニーズ、子どもの置かれた環境の状況等を的確に捉え、個々の子どもや家庭に最も効果的な援助を行った。相談件数：708件 ●青少年健全育成事業 各学区（地区）青少年育成協議会において、小中学生をはじめとした青少年の地域活動を推進した。青少年育成市民会議において、豊かな心をはぐくむ家庭づくりの推進として、絵画・ポスターおよび作文を募集し、表彰・展示を行った。各学区（地区）青少年育成協議会において毎月月初めにあいさつ運動に取り組んだ。 青少年健全育成フォーラムを開催、参加人数：273人 青少年活動顕彰「彦根児童合唱団」
1	子ども・若者を 応援する体制の 整備・充実	③ みんなで子ども・若者を育てるまちづくり	10 各種団体への研修などの支援、連携	子ども・若者課 生涯学習課	青少年健全育成事業（子若） 地域子育て支援事業（子若） 社会教育関係団体等支援事業（生学） 青少年活動の促進事業（生学）	●地域子育て支援業 子育てサポーター養成講座 受講者：3人（内彦根市3人） 登録者数：51人 子育てサポータースキルアップ講座（2回開催）受講者：延63人（内彦根市63人） サークル支援（みんなあつまりましょう）2回開催 参加者：延11人 子育て情報をまとめた「彦根市子育てガイドブック」を作成し、子育て家庭や関係機関に配布した。
1	子ども・若者を 応援する体制の 整備・充実	③ みんなで子ども・若者を育てるまちづくり	11 子ども・若者を支える人材の育成	子ども・若者課 生涯学習課 保健体育課	青少年健全育成事業（子若） 地域子育て支援事業（子若） 社会教育関係団体等支援事業（生学） 青少年活動の促進事業（生学） 社会体育関係団体活動支援事業（保体）	●自殺対策強化事業 対面相談事業、人材養成事業、普及啓発事業、若年層対策事業、自殺未遂者支援事業、自殺未遂者支援を実施した。 ○こころの相談窓口設置（相談件数 実27人、延べ50人） ○自殺対策ネットワーク会議の開催 相談窓口ネットワーク会議（2回） 自殺未遂者対策ネットワーク会議（2回） ○広報ひこねへの啓発記事掲載（2回） ○ラジオによる啓発放送 ○ゲートキーパー研修（3回） ○なんでも相談会出務
1	子ども・若者を 応援する体制の 整備・充実	③ みんなで子ども・若者を育てるまちづくり	12 各種サークル活動やNPOなどへの支援	まちづくり推進室 子ども・若者課	市民活動促進事業（ま推） 地域子育て支援事業（子若）	●健康推進課 自殺予防週間、自殺対策月間における啓発を行った。（FMひこね、広報ひこね、パネルと図書）の展示、街頭啓発、のぼり旗の設置等） 人権のまちづくりフェスタにおいて啓発、依頼のあった自治会等に対しストレス等に関する出前講座実施
1	子ども・若者を 応援する体制の 整備・充実	③ みんなで子ども・若者を育てるまちづくり	13 家庭づくりの推進	子ども・若者課	青少年健全育成事業	●社会教育関係団体等支援事業 PTAや子ども会指導者連合会、青少年団体等に対して、補助金による経済的支援を行うとともに、団体活動等への指導・助言や団体間の連携等への支援を行った。
1	子ども・若者を 応援する体制の 整備・充実	③ みんなで子ども・若者を育てるまちづくり	14 男女共同参画の啓発	人権政策課	男女共同参画社会づくり地域等啓発事業 男女共同参画センター管理運営事業 市民人権啓発推進事業 人権のまちづくりフェスタ開催事業【新】	●青少年活動の促進事業 青少年活動の促進については、青年リーダー養成講座を関係団体へ委託し、単位子ども会などの依頼に応じたレクリエーションゲーム、クラフト、バルーンアートの指導や、小学生を対象として実施している少年リーダー養成講座と連携し、企画・運営・協力を行った。
1	子ども・若者を 応援する体制の 整備・充実	③ みんなで子ども・若者を育てるまちづくり	15 ボランティアの発掘や活用	子ども・若者課	青少年健全育成事業 地域子育て支援センター事業	●社会体育関係団体活動支援事業 市体育協会に市民体育大会の開催を委託し、48競技（春・秋の総数）で大会を開催した。市内スポーツ少年団の種目別大会等の開催、指導者・ジュニアリーダーの研修や優良団員の表彰を行った。また、県立彦根総合運動場野球場にて姉妹城都市である高松市の少年野球チームと彦根市の代表チームが交流試合を開催した。
1	子ども・若者を 応援する体制の 整備・充実	③ みんなで子ども・若者を育てるまちづくり	16 生涯学習の場における教育	子ども・若者課	青少年健全育成事業	●市民活動促進事業 新たな公共サービスの担い手として様々な分野で広がりを見せている市民活動の促進を図るため、自主的・自立的に社会貢献活動を行う市民団体への支援を行う。 ひこね市民活動促進助成事業の実施団体数 13団体
1	子ども・若者を 応援する体制の 整備・充実	③ みんなで子ども・若者を育てるまちづくり	17 家庭・地域・学校の連携強化と市民への啓発	子ども・若者課	青少年健全育成事業	●男女共同参画社会づくり地域等啓発事業、男女共同参画センター管理運営事業、市民人権啓発推進事業、人権のまちづくりフェスタ開催事業 チラシ配布やラジオCM、ウィズの事業等で出前講座のPRを行うとともに、ヒューマンアクターと連携することにより「さんかくミニ講座」を16回開催し、31団体、334人が受講した。男女共同参画に関する身近な問題について学び、意見交換を行った。また、「人権のまちづくり懇談会」においても、地域推進員による出前講座以外に17自治会が「男女共同参画」をテーマとして開催した。 ウィズにおいても、男女共同参画セミナーや親子で参加できる事業など様々な講座等を開催し、2,390人が受講した。また、登録団体の活動支援として、ウィズフェスティバルを開催し、870人の来場者があった。

視点1：子ども・若者の健やかな育ちに向けたまちづくり

視点	大項目	小項目	施策	施策担当課	中事業名	事業目的・内容等
1	子ども・若者育成のための社会環境づくり	① 体験や交流を重視した学習機会の充実	18 子ども・若者リーダーの育成	生涯学習課	少年初級リーダー養成事業 青少年活動の促進事業	<p>●小学生上学年を対象に、関係団体への委託により、11月に少年リーダー養成講座を開催し、48名の子どもたちが、同世代や大人との交流、体験活動、宿泊活動などを体験し、年齢や経験に応じた資質や能力を高めることができた。</p> <p>また、青少年活動の促進については、青年リーダー養成講座を関係団体へ委託し、単位子ども会などの依頼に応じたレクリエーションゲーム、クラフト、バルーンアートの指導や、小学生を対象として実施している少年リーダー養成講座と連携し、企画・運営・協力を行った。</p> <p>さらに市内10地域において地域子ども教室を実施し、小中学生を対象とした文化活動、体験活動など地域の特色を活かした教室を開催した。参加の呼びかけや魅力のある活動の企画により参加者が増加した。</p>
1	子ども・若者育成のための社会環境づくり	① 体験や交流を重視した学習機会の充実	19 障害のある人や障害への理解を深める教育の推進	障害福祉課		<p>●障害者団体や障害福祉事業所の情報を、市ホームページへ掲載したほか、体験学習のための車いすの貸出しも適宜行った。彦根市バリアフリーマップホームページの更新を行った。</p>
1	子ども・若者育成のための社会環境づくり	① 体験や交流を重視した学習機会の充実	20 自然体験学習の推進	荒神山自然の家 学校教育課 生涯学習課	荒神山自然の家管理・運営事業 (荒自) 森林環境学習「やまのこ」事業 (学教) 体験的推進事業(たんぼのこ) (学教) 青少年活動の促進事業(生学)	<p>●荒神山自然の家管理・運営事業 小学校利用者総数 4,338人(市内利用者 1,386人 市外利用者 2,952人) 中学校利用者総数 1,676人(市内利用者 684人 市外利用者 992人) <H28年度自主事業実施状況> 活動支援スタッフ事前研修会(5月22日)、第1回荒神っ子クラブ(7月3日)、トレッキングで史跡巡り(10月23日中止)、家族でいっしょに仲よしキャンプ(9月24・25日)、キッズ荒神っ子クラブ(11月27日、12月4日)、第2回荒神っ子クラブ(1月15・22日中止)、荒神山チャレンジ華道and陶芸(3月12日)</p> <p>●森林環境学習「やまのこ」事業 小学校4年生を対象に、琵琶湖を取り巻く県内の森林で、森林体験交流施設やその周辺の森林を使った体験型の学習を展開し、森林をはじめとする環境に理解を深めるとともに、人と関わる力を育んだ。市内小学校17校、39学級が利用した。</p> <p>●体験的推進事業(たんぼのこ) 食糧生産を支える環境への意識を高め、環境を大切にしようとする心情を育むと同時に、持続可能な社会の実現を目指して主体的に行動できるような実践的態度の育成を目的とし、主に水稲、各種野菜作りを中心に体験活動をしてきた。水稲では、講師を招き、種籾の選定、苗植え、草刈り、収穫という一連の作業を体験し、学習のまとめでは、実際に収穫した作物を活用して食するという活動を実施した。市内17学校中11校が実施した。</p> <p>●青少年活動の促進事業 青少年活動の促進については、青年リーダー養成講座を関係団体へ委託し、単位子ども会などの依頼に応じたレクリエーションゲーム、クラフト、バルーンアートの指導や、小学生を対象として実施している少年リーダー養成講座と連携し、企画・運営・協力を行った。</p>

視点1：子ども・若者の健やかな育ちに向けたまちづくり

視点	大項目	小項目	施策	施策担当課	中事業名	事業目的・内容等		
1	2	子ども・若者育成のための社会環境づくり	① 体験や交流を重視した学習機会の充実	21	食育の推進	幼児課 健康推進課 農林水産課 学校給食センター	栄養士配置事業（幼児） ひこね元気計画21推進事業（健推） 湖東定住自立圏地産地消事業（農水） ふれあい体験活動事業（農水）	<p>●栄養士配置事業 給食献立検討委員会を毎月開催し、給食標準モデル献立表による給食の提供を行う計画であったが、8月末で栄養士が退職し、後任の応募が無く不在であったため、8月までの5回の開催となった。ただし、献立表の策定に当たっては、健康推進課の協力により提供することができた。また、8月までは栄養士が園を訪問し、バランスのよい食事、早寝早起き朝ごはん、安全な食品の摂取、食事時の挨拶等について、園児や保護者に啓発するとともに、園で収穫した米や野菜など身近な食材を使った簡単な料理や、正しい箸の持ち方や食事のマナーについて園児に指導、保護者への情報提供を行った。（訪問回数：63回）</p> <p>●ひこね元気計画21推進事業 「ひこね元気計画21（第2次）」に基づき、「彦根市食育推進委員会」の事務局として、市民が食育に対する意識や関心などを広く持つことを目的に、各関係機関と連携をとり、食に関する情報や取組を紹介するため、食育フェア（VivaCityひこね）、日曜市（彦根総合卸売市場）を活用して、各団体における食育啓発活動を実施した。 また、健康推進課としての食育の取組は、乳幼児健診時等の離乳食指導や相談、子育て中の親子が参加する地域ののびのび・すくすく教室での食育情報の発信等、また、生活習慣病予防のための健康教室等で食育に視点をおいた推進活動を健康推進員と一緒に取り組んだ。</p> <p>●湖東定住自立圏地産地消事業 小中学生の農業体験は本年度で7年目の取組となり、引き続き松原町の農園において、希望のあった西中学校と城北小学校の2校を対象とし西中学校1年生は、スイートコーン等の植付・収穫体験を実施し、城北小学校2年生と6年生は、サツマイモやポップコーンの植付・収穫やダイコンの植付体験を実施した。生徒・児童から農業者あてに体験の感想をメッセージにして伝えてもらうとともに、学校が収穫物を使った食事会を開催し、生産者を招待することで交流を深めた。なお、城北小2年生の取組作業の一部については、隣接する近江高等学校3年生が作業に付き添いながら生産者との交流を行い、近隣の小中高校が地域行事として活動を行った。</p> <p>●ふれあい体験活動事業（グリーンピアひこね） 地産地消、伝統食を若い世代に伝えることを目的とした梅干しづくり体験では、20組の参加者が塩漬け(6/25)と赤じそ漬け(7/9)の2工程の加工体験を行った。またみそ加工の体験では、26組が大豆のみそ加工と樽詰め体験を行った。</p>

視点1：子ども・若者の健やかな育ちに向けたまちづくり

視点	大項目	小項目	施策	施策担当課	中事業名	事業目的・内容等
1	子ども・若者育成のための社会環境づくり	① 体験や交流を重視した学習機会の充実	22 歴史文化にふれる学習の推進	彦根城博物館	夏休み子ども狂言教室開催事業 博物館活動普及事業	<ul style="list-style-type: none"> ●キッズサマースクールとして、小学生を対象に、狂言教室と博物館体験を実施した。 狂言教室（小学校5・6年生対象）：プロの狂言師のもと、全7日間で狂言の所作・実技を基本から学び博物館の能舞台上で発表した。 博物館体験（小学校1～6年生対象）：能舞台見学などの博物館体験や木造棟での茶道体験、自分の花押（かおう：サイン）や印（はんこ）を作成する体験を行った。
1	子ども・若者育成のための社会環境づくり	① 体験や交流を重視した学習機会の充実	23 地域子ども教室の推進	生涯学習課	地域子ども教室推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ●市内10地域において地域子ども教室を実施し、小中学生を対象とした文化活動、体験活動など地域の特色を活かした教室を開催した。参加の呼びかけや魅力のある活動の企画により参加者が増加した。
1	子ども・若者育成のための社会環境づくり	① 体験や交流を重視した学習機会の充実	24 スポーツ大会などの機会の充実	保健体育課 市民体育センター	スポーツ行事開催および開催支援事業（保体） 市民体育センター自主事業（体セ）	<ul style="list-style-type: none"> ●スポーツ行事開催および開催支援事業 本市主催のスポーツ事業の支援、スポーツ推進委員主催のグラウンドゴルフ交流会、スーパーカラム大会、ファミリーバドミントン交流会の開催の他、各学区においてもスポーツの機会を設けた。元気フェスタは、市民が気軽に参加できるような各種スポーツ教室やレクリエーションを取り入れ、各競技団体等と協力して開催した。学区スポーツ大会は、ビーチボールバレー、ラージボール卓球、ソフトボールを実施し、地域へのスポーツ普及のために開催した。 ●市民体育センター自主事業 年間2回の開催（春・秋） 親子キラにこフィットネス教室：各12回開催、参加者50組 チビッ子体操教室（年中）：各12回開催、受講者106人 チビッ子体操教室（年長）：各12回開催、受講者71人
1	子ども・若者育成のための社会環境づくり	① 体験や交流を重視した学習機会の充実	25 文化芸術にふれる機会の充実	文化振興室	子ども文化芸術奨励事業	<p>「子ども文芸作品」については、小・中学生あわせて7,887点（短歌1,464点、俳句4,392点、川柳1,721点、詩310点）の応募があり、また「夏休み文芸ワークショップ」には、4講座で127人（うち子ども72人）の参加があった。さらに、「ひこにゃん子ども文化芸術賞」として147人、「ひこにゃん子ども文化芸術大賞」として124人の子どもたちを表彰した。</p>
1	子ども・若者育成のための社会環境づくり	② 図書館や子どもセンターなどの充実	26 図書館や地域文庫の充実	図書館	館内図書館資料の整備・充実事業 館外図書館資料の整備・充実事業 図書館サービスの向上事業	<ul style="list-style-type: none"> ●図書館システムの整備により、本の予約やリクエスト、蔵書検索がインターネットを使用して行うことができるため、予約等の件数は増加している。また、それに伴い来館者からレファレンスやリクエストを受ける機会も増えたことから、職員間の協議、専門的知識の習得を進め、図書館サービスの向上につなげた。 ●動く図書館「たちばな号」は、市内52か所のステーションを月1回巡回し、子どもから大人まで昨年度と変わりなく利用していただいた。地域文庫は市内に12か所設置されているが、生活スタイルの変化により、利用者は減少している。 ●季節に応じたイベントや定例のおはなし会を毎月3～4回開催し、来館者の増加につながるよう努めた。

視点1：子ども・若者の健やかな育ちに向けたまちづくり

視点	大項目	小項目	施策	施策担当課	中事業名	事業目的・内容等
1	子ども・若者育成のための社会環境づくり	② 図書館や子どもセンターなどの充実	27 子どもセンターの充実	子ども・若者課	子どもセンター管理運営事業	<ul style="list-style-type: none"> ●平成28年度から指定管理者による運営とした(新) <ul style="list-style-type: none"> ・毎週月～金曜日 きらきらひろばを開催した。参加者延べ26,254人 ・子育て講座開催(12回) 受講者延310人(大人152人、子ども158人) ・情報誌「ぼけっと」の発行(月1回) ・相談 子育てアドバイザー相談(月1回)延254人、小学生の親のための子育て相談(月1回)延15人 ・子ども教室(月1回)参加者延282人 ・天文クラブ 10回開催 参加者数延266人 ・将棋教室 10回開催 延475人 ・天文クラブ 2回開催 延9人 ・星空教室 10回開催 延214人 ・天文台の公開(11回)延605人 ・ジュニアラジオ会議(年間18回)延359人 ・乳幼児向け救命講習会1回50人 ・ファミリーコンサート6回 延507人 ・イベント(1回)400人 ・秋のわくわく歴史ウォーク(1回)16人 ・めずらしい太鼓(1回)13人
1	子ども・若者育成のための社会環境づくり	② 図書館や子どもセンターなどの充実	28 児童館の充実	子ども・若者課 東山児童館	ふれあいの館管理運営事業(子若) 子どもひろば事業(東児)	<ul style="list-style-type: none"> ●ふれあいの館管理運営事業 平成28年度より、指定管理者にふれあいの館の運営を委託した。 ふれあいの館 開館日数266日 利用者数13,522人 事業を57回開催。 ●子どもひろば事業 夏休み子どもひろばを開催し、体験や子ども同士の交流の場を提供した。 (七夕の集い、みんなのおはなし会、キャンドル教室、体験学習、工作教室)
1	子ども・若者育成のための社会環境づくり	② 図書館や子どもセンターなどの充実	29 児童遊園・公園の充実	子ども・若者課 都市計画課	児童遊園管理運営事業(子若) 金亀公園・荒神山公園管理運営事業(都計) 都市公園緑地維持管理事業(都計)	<ul style="list-style-type: none"> ●児童遊園管理運営事業 公立児童遊園の維持・管理を行った。(落書き点検・便所清掃委託管理・草刈作業委託管理等) 広野児童遊園については隣接する人権・福祉交流会館との一体的な管理を行っていることから、平成29年4月1日に児童遊園としては廃止した。 ●金亀公園・荒神山公園管理運営事業 平成27年度に引き続き「高木・技研特別共同体」を指定管理者として選定し、住民にとって利用しやすい公園運営、管理を実施した。 ●都市公園緑地維持管理事業 職員による各公園の施設安全点検作業を計画通り年当たり2回実施した。さらに、点検時の異常箇所については、危険度の高いものから順次修繕対応を実施した。
1	子ども・若者育成のための社会環境づくり	② 図書館や子どもセンターなどの充実	30 地域総合センターの充実	人権・福祉交流会館	子育て事業(人福) 学童保育事業(人福) 高校生等交流事業(人福)	<ul style="list-style-type: none"> ●子育て事業 上学年英語・パソコン教室(参加者488人)、中学生英数教室(960人)、のびっこ教室(175人)を実施した。 ●学童保育事業 夏季休業中に集団生活を通じて基礎的生活習慣の確立と基礎学力の定着を図った。 町内参加児童数：23人/全参加児童数：128人=18% ●高校生等交流事業 地域における青年リーダーの育成を図った。 交流事業参加者数28人 (前年度は、交流集会の実行委員会が彦根で開催されたため、参加人数が多かった)

視点1：子ども・若者の健やかな育ちに向けたまちづくり

視点	大項目	小項目	施策	施策担当課	中事業名	事業目的・内容等
1	子ども・若者育成のための社会環境づくり	② 図書館や子どもセンターなどの充実	31 公民館の充実	生涯学習課	公民館活動事業 地域子ども教室推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ●公民館活動事業 ●地域子ども教室推進事業 市内10地域のうち8地域については、市内8地区公民館において地域子ども教室を実施し、小中学生を対象とした文化活動、体験活動など地域の特色を活かした教室を開催した。
1	子ども・若者育成のための社会環境づくり	③ 子ども・若者が参加するまちづくり	32 中学生広場の開催	生涯学習課	中学生広場開催事業	<ul style="list-style-type: none"> ●彦根市青少年健全育成フォーラムの中で「中学生からの発信HJS114」と称して、市内10校ある中学校・中等部から自発的に参加した7校により、学校紹介や地域との関わりを各校代表者が市民向けに発信した。発信生徒は成就感や満足感を味わう機会を持つことができ、また参加した市民は自分の所属する学区だけでなく、他学区の学校と地域の関わりからも、自分ができる支援を考えてもらうきっかけになった。
1	子ども・若者育成のための社会環境づくり	③ 子ども・若者が参加するまちづくり	33 地域貢献活動の推進	子ども・若者課 学校教育課	青少年健全育成事業（子若）	<ul style="list-style-type: none"> ●青少年健全育成事業 各学区（地区）青少年育成協議会において、小中学生をはじめとした青少年の地域活動を推進した。 <ul style="list-style-type: none"> ●学校教育課（中学生地域貢献プロジェクト） 中学生が地域行事等に積極的に参加することを推奨し、社会力育成を図るとともに、地域社会への貢献・連携を強めた。
1	子ども・若者育成のための社会環境づくり	③ 子ども・若者が参加するまちづくり	34 子どもフェスティバルの開催	子ども・若者課	子どもセンター管理運営事業	<ul style="list-style-type: none"> ●平成28年度からの指定管理者において、子どもフェスティバルが実施された。 子どもフェスティバル（10/9）、荒神山春祭りイベント（5/4）の企画運営を行った。 <ul style="list-style-type: none"> ジュニアボランティア296名 子どもフェスティバル実行委員会6回開催 ジュニアボランティア会議18回開催 子どもフェスティバルでは、天体望遠鏡の観測が好評であった。来場者1,900人